

小さいお子さんから

『ひまわり』
わかやましずこ
和歌山静子／作
ふくいんかんしよてん
福音館書店



ひとつぶのたねがおちて、芽がでて、茎がのびて、はっぱが出て…。大きなひまわりの花が咲くまでを力いっぱい描いた、生命力あふれる絵本です。大きなひまわりから元気をもらえるかも？！

ぴよぴよおはなしかい

- ようび：だい2・3すいようび
- じかん：ごぜん11じ30ぷん～（20ぷんほど）

☆えほんやわらべうたなど、0～2さいのおこさんといっしょにお楽しみください。

おはなしかい

- ようび：どようび・にちようび
- じかん：ごご2じ～（30ぷんほど）

☆えほんやてあそびなど、幼児～小学生向けの楽しいおはなしかいです。

ていかくねんから

『すいか！』
いしづ 石津ちひろ／文 むらかみやすなり 村上康成／絵
こみねしよてん
小峰書店



あついなつは、すいかがイチバン！今日は最高のすいかびより。うららちゃんといちくんは、おじいちゃんのすいか畑にやってきました。みんなでもぎたてのおいしいすいかを食べていると…。色彩ゆたかな絵がとても印象的です。

うちどく
家読リスト

よもよも。

☆毎月23日は、
『朝倉市子ども読書の日』



2019ねん 8 がつごう

あさくらしちゅうおうとしょかん

中学年から

『かわ』
すずき 鈴木のりたけ／著
げんとうしや
幻冬舎



やまに降るひとつぶの雨からはじまった水の流れは、かわとなって海にたどりつき、そしてまた雲から雨になり、かわを流れていきます。日本のかわの豊かさと、そこに住む145種類の生き物たちを、水と魚の目線から紹介します。

あかちゃんから

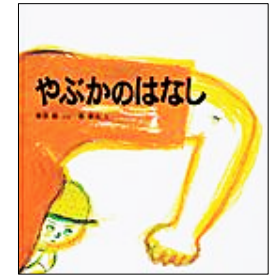
『ぶちとまとちゃん』
ひろかわさえこ／作
かいせいしや
偕成社



ぶちとまとちゃんたちが、ぼろぼろぼろんとたくさんころがってきました。ぶちとまとちゃんたちは、お水につかって、ちゃぶちゃぶちゃぶん。リズムカルな言葉とかわいらしい絵に、きっと赤ちゃんとママも笑顔になりますよ。

高学年から

『やぶかのはなし』
くりほら 栗原 毅／ぶん ちよう 長 新太／え
ふくいんかんしよてん
福音館書店



夏になるとやってくる「か」の話。なぜ「か」は刺し、血を吸うの？ 血を吸うのはオス？メス？人間にとっては病気の原因になることもあります。「か」にとっては、とても重要な意味があります。知っているようで知らない「か」の生態を、楽しく探っていきましょう。

小さいお子さんから

『うまれたよ！セミ』
しんかいだし 新開孝／写真 小すぎ 小杉みのり／構成・文
いわさきしよてん
岩崎書店



木の中にうみつけれられたセミのたまごは、6月になって雨がふるとかえります。そして、7月になると…。セミがうまれるまでのようすや大きくなっていくようすを、大きなしゃしんで追っていきます。